

## ハクセンシオマネキ観察会と干潟の生き物かんさつ

- ・参加者  
一般参加者: 6名 / 築港中学校: 生徒13名 先生2名(校長先生と理科教員)
  - ・スタッフ: 7名
  - ・緑道を通り北池鋼管前の干潟で、望遠鏡を使ってハクセンシオマネキを観察。参加者全員ハサミを振る様子(ウェービング)を観察できた。
- その後、干潟へ入り干潟の生き物を探して観察。  
ヒライソガニやアカニシなど31種の干潟の生き物を探して、観察することができた。  
とくに築港中学校の生徒が見つけたスジハゼは野鳥園初記録の魚でした。



## 干潟の渡り鳥かんさつ会

- ・参加者 14名
- ・リーダー 10名  
(NPO法人南港ウェットランドグループ 3名、野鳥ガイド登録者 7名)
- ・受付/アンケート 建設局 3名
- ・次年度は、暑さを考慮して、9月か10月の実施としたい



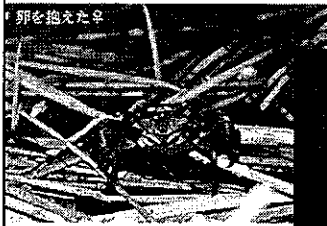
## アカテガニ観察会 18:00~20:20



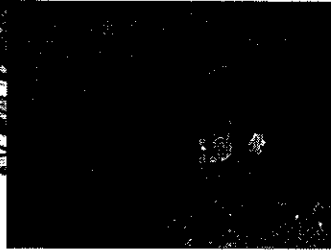
そろそろと移動するアカテガニ



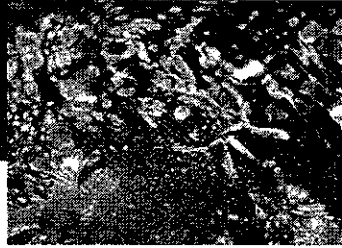
アカテガニが生活している林床



卵を抱えた♀



体をゆすって放仔中の♀



築港中学校が参加できなくなり、参加者は8名。  
参加者が多くなると、観察場所の整備が必要。

## 野鳥ガイド

- ・男性 9名、女性 7名
- ・年間 36回(土日祝)のガイド
- ・毎回2名で担当。多い日は70名以上の来園者に対応
- ・野鳥かんさつ会のスタッフとしても活躍
- ・あと5名以上は増やしたい



## 展望塔のホワイトボードが好評(来園者への情報提供)

来園したバードウォッチャーやNPOスタッフがその日に園内で見た野鳥を書き込む。



## 近郊の学校との環境学習

2016.11.26: 築港中学理科教員、海遊館、NPO三者で打合せ

### ・ 築港中学校との次年度の計画

1) 実施月: 7月上～中旬、11月中旬以降

2) 参加人数: 最大で50名

3) 実施内容:

#### ・ 単純な湿地の手入れで達成感があるもの

北池のカキを南池に移動し、餌場・休み場(カキ山)をつくる  
落ち葉の投入 など

#### ・ 調査に熱心な現1年生チームを中心に、干潟の生きものを調べる

ヨコエビ類、ハクセンシオマネキ巣穴調査 など

北池の干潟を覆っているカキ礁  
 南池にカキの一部を移動させてカキ山を作る  
 市民+近郊中学参加で次年度に実施予定



現在  
 北池干潟に  
 広範囲に  
 ひろがる  
 カキ礁

ヨコエビ類などの生きものを調べる  
 次年度の11月以降に、築港中と実施予定



写真は昨年度の  
 ヨコエビ調査風景

## NPOと大阪市との意思疎通

毎月の定例会議+11月の勉強会

- 11月30日(水) 勉強会 14:00~16:00
- 対象者: 大阪市の事業担当者、緑地の維持管理作業を行う大阪市職員(約20名)など
- 企画/担当: NPOトータルコーディネーター
- 目的: 下記の点について知識を深め、今後の管理に生かす
  - 1) 野鳥園の歩み
  - 2) 生きものに配慮した干潟・湿地や植栽部分の手入れ
  - 3) それぞれの環境を野鳥がどう利用しているか
- 内容: 1時間の講義、1時間の現地(湿地と植栽エリア)の視察



以上

